



2015年度秋期

大阪サテライトキャンパス公開講座

キリスト教講座第1回・第2回

第1回 善きサマリア人のたとえ

講師：元上智大学神学部教授・東京教区司祭 雨宮 慧

講座① たとえの解釈の二つの方法 2015年12月19日(土) 13:00~14:30

たとえの解釈は1888年を境にして、まったく異なる方法を用いている。1888年以前はもっぱら寓喩的解釈が行われてきた。しかし、1888年以降、寓喩的解釈が完全に放棄されてはいないとしても、まったく異なる方法がとられるようになった。寓喩的解釈とは何か。それとは異なる新しい解釈とはどのような方法か。それをまず説明することにしたい。

講座② 善きサマリア人のたとえの現代的な解釈 2015年12月19日(土) 15:00~16:30

1888年以前の寓喩的解釈では、たとえに登場する「サマリア人」は例外なくキリストを指すと解釈されてきた。しかし、現代における解釈によれば、イエスがたとえを語った段階での「サマリア人」はキリストを指していなかったとみている。それでは、このたとえは何を教えようとしているのだろうか。それを考えてみたい。

第2回 アブラハムの生涯に学ぶ

講師：上智大学神学部特任教授 月本 昭男

講座① アブラハムの生涯に学ぶ(上) 2016年1月16日(土) 13:00~14:30

講座② アブラハムの生涯に学ぶ(下) 2016年1月16日(土) 15:00~16:30

旧約聖書が伝えるアブラハムの物語はイスラエルの父祖の物語です。そこには、これを伝えた人々の人生観や世界観が込められています。信仰や自己理解がたたみ込まれています。物語を織りなすのは、一人の人物の不安と期待、喜びと悲しみ、戸惑いと決断です。本講義では、こうした点に目を凝らしつつ、アブラハムの物語を読みましょう。「信仰の父」とは別の人物像がそこから浮かび上がってくるでしょう。旧約聖書を残した民はアブラハムにはじまる父祖たちの生涯に自分たちの生涯を重ね合わせて、物語を語り伝えたとはいえません。

会場：上智大学大阪サテライトキャンパス〈サクラファミリア(カトリック大阪梅田教会)2階〉

受講料：各回2,700円 定員：各回50名

※事前のお申し込みが必要です。申込方法、申込締切日は裏面をご確認ください。

●アクセス

上智大学大阪サテライトキャンパス

- ・地下鉄御堂筋線「中津駅」4番出口より徒歩2分
- ・阪急「梅田駅」茶屋町口より徒歩4分
- ・JR「大阪駅」御堂筋北口より徒歩10分

※駐車場はございません。公共交通機関でお越しください。

●お問い合わせ先

上智大学大阪サテライトキャンパス事務センター

〒531-0072 大阪市北区豊崎3丁目12番8号
サクラファミリア(カトリック大阪梅田教会)2階
電話：06-6450-8741

開室時間：平日10:00~18:00

大阪サテライトWEBサイト

<http://www.sophia-osaka.jp/>

